周南の島「大津島」コミュニティ紙

# 潮流

2019年 1月号

No.265

大津島データ　174世帯
人口　245人　男　99人　女　146人
高齢化率　78.8%
(平成30年11月30日現在)

題字：末兼南子さん　　イラスト：大津美子さん（ふれあいセンターロビーに展示中）

## 謹んで新春のお慶びを申し上げます

昨年は大津島にとり大きな出来事がたくさんありました。

春には満開の桜の下、天候にも恵まれ『桜まつり』が、また秋には島内外から多くの方々を迎え『島マルチェ』が開催されました。

船に乗りきれないほどの方々が訪れ、来客者の「大津島は良いところですね！」との多くの声に、島を堪能されて帰られたことを大変誇らしく感じました。

7月には梅雨豪雨に見舞われ、島内の主要市道が通行止めになるほどの災害もあり、島内での生活に大きな支障をもたらすような出来事もありましたが、数年ぶりとなるお子さんの誕生や若いカップルの結婚など明るい話題もあり、まさに激動の一年でありました。

島内人口の減少や高齢化などの諸問題もありますが、若潮の会などご支援をいただける心強い団体もあります。私どもも皆様と共に取り組みを進めてまいりたいと思いますので、引き続きご支援とご協力をお願い申し上げます。

今年は平成最後の年と騒がれてはおりますが、言い換えれば新しい時代を迎える年でもあります。

この新たな時代の幕開けが皆様にとって幸多き年になりますよう心から祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

平成三十一年　元旦

大津島地区コミュニティ推進協議会
会　長　安達　壽富
事務局長　伊藤　浩司

左：安達会長、右：伊藤支所長

羊の羽は丘にあり　vol.09

「椿」

移住して二度目の冬を迎えました。今年は暖冬と言われていましたが、急な寒さが到来し、これが身体に堪え、布団の中で冬を越したい気持ちでいっぱいです。

赤い椿の花言葉は「謙虚な美徳」。冬の寒さの中で、控えめに咲く椿は美しくとても好きです。

今朝も床の間に飾った椿を布団の中から眺めながら、そろそろ起きようかと悩んでいます。

松田翔則





# 島マルチェ開催報告

10月28日（日）「島マルチェ」を初めて開催し、４００人を超える来島者と多くの島の皆さんにご来場いただき、馬島周辺が大いに賑わいました。

このイベントは、島の魅力向上と、島の産品を広く知ってもらい、新たな島の産業形態の構築を目指し、島に住むことの付加価値を高めることを目的に開催しました。

そのため、通常使用するテントではなく、島の自然にマッチする資材で造った特製のブースを設営するなど、会場全体のデザインをナチュラルに統一しました。また、出店者も市内外で営業されている島の雰囲気にあう店舗にも特別に出店いただき、会場を盛り上げていただきました。

そこに流れる時間、音、空間、すべてが交わることにより、また新たな大津島の一面を見ることができました。

どのブースも売り切れ続出でしたが、特に来場者の皆さんに人気だったのは、生きたハマチやアジなどを販売する「古城活魚」や、島で獲れたアジを使ったアジフライを販売した「島食堂」、焼きそば、焼き鳥などの定番メニューを販売する「若潮の屋台」でした。

また、島民がガイドするツアー「しま散歩」も好評で、次回も参加したいとの声が続出しました。

島ではなかなか手に入らない、ジェラートやソフトクリームを販売する「ジェラートクラキチ」や「コーヒーボーイ」は島の皆さんに一番人気でした。改めて、島民の皆さんのアイスに対する熱量の高さを感じました（笑）

今回は初めての開催でもあり、運営に不慣れな部分が多々あり皆さまにご迷惑をおかけしたと思います。今回の経験を生かし、次回に向けて準備を進め、大津島地域の発展のために汗をかいていこうと思います。

【島マルチェ　データ】
日時　平成30年10月28日10時～16時
場所　大津島公園・ふれあいセンター周辺
主催　大津島地区コミュニティ推進協議会
後援　一般財団法人地域活性化センター
出店　13ブース／物販5、飲食6、体験2

# 祝ご結婚

馬島の古城涼太さんが綾香さんとご結婚されました。幸せ一杯のお二人に話しをお聞きしました。

**綾香さんをご紹介して下さい**
田布施出身の28歳です

**お二人はどこで出会いましたか**
徳山の街コンで意気投合しました

**結婚すると決めた決め手は**
涼太／一緒に釣りを楽しんでくれるところ
綾香／作ったご飯を食べてくれたとき

**相手の好きなところは**
涼太／よく喋るところ
綾香／優しいところとご飯をいっぱい食べるところ（キャー）

**これだけは直して欲しいところは**
涼太／家を出るまでの時間が長い
綾香／たばこ！笑

**今後、島に住んでやりたいことは**
涼太／島でのんびり暮らしたい
綾香／野菜とか何か作ってみたい

**島の皆さんへのメッセージを**
涼太／二人とも未熟者ですが、暖かく見守ってください
綾香／色々初めてだらけでご迷惑をおかけすると思いますが、これからよろしくお願いいたします。

インタビュー：渡辺あゆ子

# 知っちょるかね　水のありがたさ

文＝松本千恵子

このところ、ずっとニュースで流れちょった周防大島の断水。ここへ来てようやく解消されて本当にえかった事と、よそ事ながら安堵したちゃあね。

日頃は出るのが当たり前になっちょる水。その当たり前はいとも簡単に崩れる事、当たり前にある事こそ無くなると直ぐに生活に支障をきたす事を、この度の事で学んだ思いがしたね。

今でこそこの島も水不足に泣く事も無くなったけど、まだ私らぁが上の子を育てる頃は夏毎に水不足じゃった。あの頃はまだ、段々畑が山のてっぺんまであって保水力が無かったし、井戸も何処の家にもある訳じゃあないし、気がね気がねに水を貰いに行くせんなさ。

うちはその頃は家の裏に井戸があったからまだえかったけど、この井戸もわりかた簡単に水が少なくなる井戸で、何軒かが同時に風呂水でも汲んだら、すぐに水が濁りよったたね。それに水脈が当たり前じゃあなかったらしく、上の田の有り様がそのまま影響する井戸じゃった。ある年はひどい干ばつで何処の井戸も水が枯れそうになった事があった。赤ちゃんを連れたあるお母さんが、自分の家の近くじゃあ気がねで洗濯が出来ず、上の田の水の流れにオシメを洗いに来た事があった。そしたらなんと、我が家の井戸で泡がたった。なんのことはない、他に流れる水のない水脈は、洗濯水をそのまま我が家の井戸に運んだらしい。それでも他に水は無いんだから洗濯や風呂はその水を使い、炊事だけはよそに貰いに行く生活をしばらくしたね。

その翌年位から水道の工事が始まり、今では蛇口から水が出るのは当たり前になった。幸せな事ちゃあね。

じゃが、あの周防大島のように、いつ当たり前が当たり前に出来ん日が来んとも限らん。今一度あの頃お世話になった井戸を思い出して、当たり前の有り難さに思いを致すのも大事かなと思ったここ一か月余り。

新しい年が穏やかでありますように、感謝と願いを込めて。

## お知らせ

【次回潮流発行予定日】
3月1日　第266号

**移動図書館**　やまびこ号ジュニア
**1月8日（火）、2月15日（金）**
刈尾待合所11：20～12：50
※馬島待合所につきましては豪雨災害による通行止めのため、しばらく休止します。

**大津島地区社会福祉協議会からのお願い**
善意銀行への寄付にご協力ください

**○道路課よりお知らせ**
現在、市道災害復旧作業のため、砲台山登山道を通行止めとしております。
ご不便をおかけいたしますがご理解ご協力をお願いいたします。
【工事に関する問い合わせ先】
洋林建設㈱大津島災害復旧工事事務所
（050-5433-0961）

【1月～3月の島の主な行事予定】
■1月31日（木）　税の申告相談
10時～12時　大津島ふれあいセンター
14時～17時　大津島支所
■2月11日（祝）　建国記念行事・文化祭
11時～　大津島「海の郷」　※詳細は3面下
■2月14日（木）　島麦酒 SUDAIDAI 解禁日
大津島産すだいだいを使用した地ビールの、各店舗で販売が始まる日です。※文化祭で試飲をしますので、皆様はそこでもお楽しみいただけます。

【編集後記】新年、明けましておめでとうございます。昨年は、2月のブルゾン神杉でハズシ、3月の島麦酒で酔いつぶれ、7月の崖崩れでつぶされ、10月の島マルチェに引きずり回され、1年中イノシシに掘りまわされ、その他にも色々とありぃ、台風の様に一瞬のうちに過ぎ去ってしまいました。今年こそは皆さんのご厚情に報いようと決心してからいつの間にか1年が過ぎ、恥ずかしい想いを抱いたまま新年を迎えています。でも、性懲りもなく今年こそは！と新年の誓いを立ててしまいました。　文責：神杉



# 徳山湾見聞録　13　怪しくゆれる赤い炎

文＝回天記念館　三崎英和

12月22日は冬至でしたので、これから少しずつ日中の時間が長くなりますね。

ところで冬至は、日の出の時間が最も遅く、日没の時間が最も早い訳ではありません。実は日の出と日没のその時間にはずれがあり、日の出時間が最も遅い日は2月6～10日で日没時間が最も早い日は12月の2～7日でした。そのため今、日没時間はゆっくり遅くなっています。

それでも夏場に比べると、かなり日が暮れるのが早いので、対岸にある工場群の灯火を目にする機会は多くなりました。その灯火を見ていると、ゆらゆらとロウソクの炎のように赤く揺れながら燃えている煙突が確認できます。この煙突はフレアスタックと言って、工場内で発生した余剰ガスを、安全のためにあえて燃焼させて放出しているものです。

ところで、近年、省エネや地球温暖化が叫ばれている中で、このようにガスを無駄に燃やすことは良くないのではと思ったことはありませんか。そのガスを回収して何かの燃料にすればいいのにと普通思いますよね。

しかし、そうした動きはあまりないようです。というのは、このガスには有害物質も含まれるため、回収するのに多大なコストが必要となり、それは最終的には製品の価格に転嫁されることになるから…のようですよ。

イラスト・三崎英和

# 行事報告　アイランダー2018

報告者　古城昭彦

平成30年11月17日、18日の2日間、東京池袋にてアイランダー2018が開催され、今年も島から3名で参加しました。

今回は、過去最少人数で参加しましたが、昨年同様、拓殖大学の学生5名にボランティアでブースタッフを担ってもらい、合計8名でPRを行っています。

今回で5回目となりましたが、今年は島麦酒スダイダイ（地ビール）の効果もあり、すだいだいが多くの方の注目を浴びました。

中でも、宮崎県延岡市にある島浦島（しまうらとう）からは12月に大津島へすだいだいの視察に来られました。また、全国各地の離島の産品を使ったものを食べることができるレストラン「離島キッチン」からも島麦酒スダイダイの問い合わせがあり、現在出荷に向けて調整中です。

一方、肝心の移住者ですが、移住・定住促進に関するアンケート調査票の記入を50名の方にしていただきましたが、今回については、実際に大津島に来島された方は今のところいませんが、皆さん興味を持っていただいています。

三歩進んで二歩下がる状況ですが、一歩ずつ前を向いて進んでいきたいと思いますので、皆様のご理解とご協力をお願いします。

**大津島地区建国記念行事・文化祭（予定）**

日時　平成31年2月11日（祝）11時～
会場　大津島「海の郷」
内容　＊建国記念行事
＊すだいだいビール完成試飲会
＊昼食（弁当と若潮の会の芋汁）
＊スペシャルステージ
＊演劇「水戸黄門～大津島漫遊記～」
＊踊り、カラオケ、展示　など

◆発行　第265号ー平成31年1月1日ー大津島地区コミュニティ推進協議会　◆編集　潮流編集委員会　◆事務局　大津島支所
〒745－0057　周南市大字大津島1361－4　電話0834（85）2001　ファックス0834（85）2732